

地域福祉分科会

議案第64号 平成28年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

認知症の初期対策を！

Q 包括的支援事業としてどのようなことに取り組んだのか。また、認知症サポーター養成講座の開催状況と認知症初期支援チームの活動状況は。

A 平成28年度はモデルケースとして、認知症初期集中支援チームを1チーム、社会福祉協議会に設置しました。また、6月からホームページ上において、認知症の疑いがあるかをチェックできる簡易版のサイトを開設しました。

平成28年度は認知症サポーター養成講座を75回開催し、3,140名の参加があり、その結果、現在、市内には累計で8,981名の認知症サポーターが登録されています。また、認知症初期支援チームへの相談件数は75件あり、その内、現場での対応は41件ありました。延べ回数として152回の活動実績となっています。



議案第64号 平成28年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

児童、早期発達障がい支援に向けて！

Q 集団適応健診での児童の診断結果は。また、支援はどのように行っていくのか。

A 平成28年度は集団適応健診をモデルケースとして2園で行い、健診の結果、15%程度の方に支援していく考えです。また、保育士・教員などの力を借り*CLMなどの手法を用いて集団適応の力を上げていきます。なお、平成29年4月から教育指導課長が集団適応検討委員となり、就学後も対応できるように進めています。

●CLM(チェック・リスト・in三重)

保育所・幼稚園において、発達に課題がある子の行動等を観察し、個別の指導計画を作成するために、三重県が開発したアセスメントツールです。

- ・対象：保育所・幼稚園に通う 発達に課題がある子
- ・CLMの種類：
「3歳児クラス用」、
「4歳児・5歳児クラス用」

※診断名をつけたり障がいを特定したりするための使用は禁止

4歳児クラス・5歳児クラス用
(担任)

- (1) 言葉、言葉の支援や給食の準備など一連の動作が...
- (2) 片づけができない.....
- (3) 先生の指示を聞いて行動できない.....
- (4) 初めて取り組むことに参加できない.....

「自分の思いをことばで表現できない.....」
「字、形などに興味を示さない.....」